

国民年金特別会計

(福祉年金勘定)

平成 18 年度財務書類

## 貸借対照表

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位：百万円)

	前会計年度 (平成18年3月31日)	本会計年度 (平成19年3月31日)		前会計年度 (平成18年3月31日)	本会計年度 (平成19年3月31日)
<資産の部>			<負債の部>		
現金・預金	2,908	2,447	未払金	2,867	2,402
未収金	402	347			
貸倒引当金	△ 201	△ 173			
			負債合計	2,867	2,402
			<資産・負債差額の部>		
			資産・負債差額	242	219
資産合計	3,109	2,621	負債及び資産・負債差額合計	3,109	2,621

# 業務費用計算書

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位：百万円)

	前会計年度		本会計年度	
	自 平成17年4月 1日	至 平成18年3月31日	自 平成18年4月 1日	至 平成19年3月31日
福祉年金給付費		17,648		14,465
その他の経費		—		0
貸倒引当金繰入額		73		27
本年度業務費用合計		17,722		14,492

# 資産・負債差額増減計算書

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位：百万円)

	前会計年度		本会計年度	
	自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日		自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日	
I 前年度末資産・負債差額		2,695		242
II 本年度業務費用合計		△ 17,722		△ 14,492
III 財源		15,269		14,469
1 自己収入		33		44
その他の財源		33		44
2 他会計（勘定）からの受入		15,235		14,424
一般会計からの受入		15,235		14,424
IV 本年度末資産・負債差額		242		219

## 区分別収支計算書

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位：百万円)

	前会計年度		本会計年度	
	自	平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日	自	平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日
I 業務収支				
1 財源				
その他の収入		40		44
一般会計からの受入		15,235		14,424
前年度剰余金受入		6,018		2,908
財源合計		21,294		17,378
2 業務支出				
(1) 業務支出 (施設整備支出を除く)				
福祉年金給付費		△ 18,386		△ 14,930
その他の支出		-		△ 0
業務支出 (施設整備支出を除く) 合計		△ 18,386		△ 14,930
業務支出合計		△ 18,386		△ 14,930
業務収支		2,908		2,447
本年度収支		2,908		2,447
翌年度歳入繰入		2,908		2,447
本年度末現金・預金残高		2,908		2,447

## 注記

### (1) 重要な会計方針

#### ① 引当金の計上基準及び算定方法

##### <貸倒引当金>

貸倒引当金は、債権の貸倒による損失に備えるため、返納金債権等の未収金について過去の実績により算定している。

#### ② その他財務書類作成のために基本となる重要な事項

##### <消費税等>

税込方式によっている。

### (2) 追加情報

#### ① 出納整理期間

出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

#### ② 各財務書類における表示科目の説明

##### <貸借対照表>

- ・ 「現金・預金」には、決算剰余金を計上している。
- ・ 「未収金」には、当年度末における当年度分、過年度分の雑収入の未収額を計上している。
- ・ 「貸倒引当金」は、未収金等の債権に係る回収不能見込額を計上している。
- ・ 「未払金」には、当年度末における福祉年金給付費に係る未払額を計上している。

##### <業務費用計算書>

- ・ 「福祉年金給付費」には、福祉年金給付のため支出した額を計上している。
- ・ 「その他の経費」には、賠償償還及び払戻金等の額を計上している。
- ・ 「貸倒引当金繰入額」には、債権の貸倒に伴う費用及び損失のうち当年度の負担額を計上している。

##### <資産・負債差額増減計算書>

- ・ 「前年度末資産・負債差額」には、前年度貸借対照表における資産・負債差額を計上している。
- ・ 「本年度業務費用合計」には、業務費用計算書における本年度業務費用合計を計上している。
- ・ 「財源」には、自己収入と他会計からの受入の合計額を計上している。
- ・ 「自己収入」には、その他の財源を計上している。
- ・ 「その他の財源」には、雑収入に係る収入額を計上している。
- ・ 「他会計（勘定）からの受入」には、一般会計等からの受入額を計上している。
- ・ 「一般会計からの受入」には、国民年金法第 85 条、国民年金法等の一部を改正する法律附則 34 条の規定により、国庫から受け入れた国庫負担金に係る収入額を計上している。

- ・ 「本年度末資産・負債差額」には、本年度貸借対照表における資産・負債差額を計上している。

<区分別収支計算書>

- ・ 「その他の収入」には、雑収入に係る収入額を計上している。
- ・ 「一般会計からの受入」には、国民年金法第85条、国民年金法等の一部を改正する法律附則34条の規定により、国庫から受け入れた国庫負担金に係る収入額を計上している。
- ・ 「前年度剰余金受入」には、前年度決算上の剰余金の受入額を計上している。
- ・ 「福祉年金給付費」には、福祉年金給付のため支出した額を計上している。
- ・ 「その他の支出」には、賠償償還及び払戻金等の支出額を計上している。
- ・ 「本年度末現金・預金残高」には、本年度末の現金・預金残高を計上している。

- ③ その他財務書類の内容を理解するために特に必要と考えられる情報
- ・ 単位未満の計数の切り捨て及び100万円未満の計数の表示等  
金額の単位は100万円単位とし、単位未満は切り捨てているため、合計は一致しないことがある。  
100万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。

附属明細書

(単位：百万円)

1. 貸借対照表項目に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 現金・預金の明細

内容	本年度末残高	説明
日本銀行預金	2,447	元受分
合 計	2,447	

② 未収金の明細

内容	相手先	本年度末残高
年金返納金	年金受給者等	347
合 計		347

③ 貸倒引当金の明細

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	
未収金							
徴収停止等債権	—	—	—	—	—	—	
履行期限到来等債権	402	△54	347	201	△27	173	簡便法により算定
上記以外の債権	—	—	—	—	—	—	
合 計	402	△54	347	201	△27	173	



(2) 負債項目の明細

① 未払金の明細

内容	相手先	本年度末残高
福祉年金給付	受給者等	2,402
合計		2,402

2. 資産・負債差額増減計算書の内容に関する明細

(1) その他の財源の明細

款	項	金額
雑収入	雑収入	44
合計		44

3. 区分別収支計算書の内容に関する明細

(1) その他の収入の明細

款	項	金額
雑収入	雑収入	44
合計		44